

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月12日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社スーパー大栄

コード番号 9819

URL <http://www.superdaiei.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 阪本 博美

(TEL) 093 (602) 2770

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,477	△4.8	△48	—	△62	—	△107	—
25年3月期第2四半期	12,060	△5.7	28	—	16	—	△23	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△14.92	—
25年3月期第2四半期	△3.27	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,678	3,250	33.6
25年3月期	10,531	3,382	32.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,250百万円 25年3月期 3,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	3 00	3 00
26年3月期	—	0 00			
26年3月期(予想)			—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△3.6	10	△92.0	△10	—	△50	—	△6 95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	7,200,000株	25年3月期	7,200,000株
26年3月期2Q	6,806株	25年3月期	6,006株
26年3月期2Q	7,193,581株	25年3月期2Q	7,195,789株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	10
(業績の推移)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、来年の消費税増税や新興国経済の減速懸念など景気を下押しするリスクは残るものの、政府の経済対策効果や日本銀行の金融緩和政策で、企業の業況判断や雇用情勢は改善、さらに株式市場の活況で株価は上昇、また輸出産業は円安効果で企業業績が好転するなど、全般的に景気は緩やかに回復してまいりました。

しかし、小売業界では業態間の垣根を越えた価格競争は激化の一途を辿り、消費者の低価格志向も定着化するなど、小売業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は店舗政策として、通路が広く、見渡しが良く、高齢者の方が買い物しやすい売り場づくりに重点を置き、サンディ宮松店(5月)、国分店(5月)、サンディ宇美店(9月)を随時改装いたしました。

また、商品政策としては消費者のニーズを把握し、競合店に負けない低価格戦略と品揃えで集客力アップに取り組んでまいりました。

さらに、当社はデフレ下における収益力対策として、ローコスト経営の基本路線を堅持し、徹底した販管費の削減と仕入れコストの抑制を図ってまいりました。

しかしながら、当社の中核事業部であるフレッシュ8事業部においては、平成25年3月、フレッシュ8店舗が集積する圏内に大型の競合店が進出、競合店もその対策として、採算を度外視した低価格路線で対抗した結果、圏内の価格体系は崩壊し、当社も大きな影響を受けました

さらに、円安で輸入食材が高騰したことに加え、例年にない異常気象の影響で、生鮮食品が品不足となり、仕入原価も値上りした為、計画通りの売上高を確保することができませんでした。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は11,477百万円(前年同四半期比4.8%減)、営業損益は48百万円の営業損失(前年同四半期は28百万円の営業利益)、経常損益は62百万円の経常損失(前年同四半期は16百万円の経常利益)となり、四半期純損益は減損損失15百万円の計上等により107百万円の四半期純損失(前年同四半期は23百万円の四半期純損失)となりました。

なお、事業部門別売上高は次のとおりであります。

事業部門	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同四半期増減率(%)
	(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品	6,772	56.2	6,439	56.1	△4.9
一般食品	4,026	33.4	3,851	33.6	△4.3
日用雑貨	404	3.3	373	3.2	△7.8
その他	707	5.9	703	6.1	△0.4
計	11,910	98.8	11,367	99.0	△4.6
その他の事業	149	1.2	109	1.0	△26.8
合計	12,060	100.0	11,477	100.0	△4.8

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期末の総資産は、前期末比852百万円減少し、9,678百万円となりました。

流動資産は、前期末比680百万円減少し、1,603百万円となりました。これは、現金及び預金が658百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前期末比171百万円減少し、8,075百万円となりました。これは、固定資産の減価償却が151百万円となったことなどによります。

流動負債は、前期末比492百万円減少し、4,516百万円となりました。これは、短期借入金が増加したものの、買掛金が651百万円、1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどによります。

固定負債は、前期末比228百万円減少し、1,911百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによります。

純資産は、前期末比131百万円減少し、3,250百万円となりました。これは、四半期純損失107百万円を計上や、配当金21百万円の支払いにより利益剰余金が減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末比658百万円減少し、802百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主たる増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費等のプラス要因はありましたが、前期末日が銀行休業日であったために仕入債務等の資金決済が翌月初になったことが減少等のマイナス要因になり、619百万円のマイナス（前年同四半期は164百万円のプラス）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出等のマイナス要因はありましたが、投資有価証券の売却による収入や建設協力金の回収による収入等のプラス要因により、48百万円のプラス（前年同四半期は26百万円のプラス）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増によるプラス要因はありましたが、長期借入金の返済による支出やリース債務の返済による支出等のマイナス要因により、87百万円のマイナス（前年同四半期は263百万円のマイナス）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月15日に発表しました業績予想の修正を行っております。

詳しくは本日付けの「平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,460,253	802,123
売掛金	4,172	6,469
商品	690,771	682,341
その他	128,675	112,275
流動資産合計	2,283,873	1,603,210
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,160,306	3,089,646
土地	3,282,026	3,277,228
その他(純額)	539,667	524,113
有形固定資産合計	6,982,000	6,890,989
無形固定資産	132,365	126,585
投資その他の資産	1,132,966	1,058,128
固定資産合計	8,247,332	8,075,703
資産合計	10,531,206	9,678,913
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,908,236	1,256,453
短期借入金	1,800,000	2,065,000
1年内返済予定の長期借入金	563,000	528,000
未払法人税等	28,367	17,021
賞与引当金	33,000	32,000
ポイント引当金	10,215	9,856
店舗閉鎖損失引当金	2,955	2,020
その他	662,924	606,321
流動負債合計	5,008,698	4,516,672
固定負債		
長期借入金	991,000	727,000
退職給付引当金	685,016	698,390
役員退職慰労引当金	101,959	104,381
その他	362,428	382,057
固定負債合計	2,140,403	1,911,829
負債合計	7,149,101	6,428,501

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667,108	1,667,108
資本剰余金	1,617,919	1,617,919
利益剰余金	85,477	△43,451
自己株式	△1,321	△1,440
株主資本合計	3,369,182	3,240,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,921	10,276
評価・換算差額等合計	12,921	10,276
純資産合計	3,382,104	3,250,412
負債純資産合計	10,531,206	9,678,913

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	12,060,276	11,477,326
売上原価	9,534,150	9,096,975
売上総利益	2,526,125	2,380,351
営業収入	197,509	183,906
営業総利益	2,723,635	2,564,257
販売費及び一般管理費	2,695,209	2,612,920
営業利益又は営業損失(△)	28,426	△48,663
営業外収益		
受取利息	1,929	1,727
受取配当金	2,684	2,657
違約金収入	3,300	—
その他	6,404	5,427
営業外収益合計	14,318	9,812
営業外費用		
支払利息	25,671	22,812
その他	702	488
営業外費用合計	26,373	23,300
経常利益又は経常損失(△)	16,370	△62,152
特別利益		
固定資産売却益	5,229	22
投資有価証券売却益	7,336	2,947
受取保険金	166	1,581
特別利益合計	12,733	4,551
特別損失		
減損損失	—	15,594
固定資産除却損	1,662	9,642
投資有価証券評価損	44,090	—
その他	134	496
特別損失合計	45,887	25,733
税引前四半期純損失(△)	△16,783	△83,334
法人税、住民税及び事業税	9,023	8,022
法人税等調整額	△2,239	15,988
法人税等合計	6,784	24,011
四半期純損失(△)	△23,567	△107,346

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△16,783	△83,334
減価償却費	163,972	151,228
減損損失	—	15,594
投資有価証券評価損益(△は益)	44,090	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,336	△2,947
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△4,442	△935
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,590	13,373
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15,967	2,422
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△1,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△882	△359
受取利息及び受取配当金	△4,614	△4,384
支払利息	25,671	22,812
有形固定資産売却損益(△は益)	△5,229	△22
固定資産除却損	2,255	5,256
売上債権の増減額(△は増加)	1,391	△2,297
たな卸資産の増減額(△は増加)	57,227	8,070
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,707	1,318
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,608	△651,782
その他の流動負債の増減額(△は減少)	25,290	△59,385
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△105	△105
その他	2,008	6,191
小計	204,056	△580,284
利息及び配当金の受取額	2,755	2,712
利息の支払額	△22,626	△22,125
法人税等の支払額	△19,537	△19,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,648	△619,412
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△10,545	△44,883
有形固定資産の売却による収入	1,000	70
投資有価証券の売却による収入	21,546	56,909
貸付けによる支出	—	△150
貸付金の回収による収入	644	550
建設協力金の支払による支出	△3,918	△4,293
建設協力金の回収による収入	17,604	45,270
敷金及び保証金の差入による支出	△15,780	△7,502
敷金及び保証金の回収による収入	19,599	2,295
その他	△3,588	543
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,562	48,808

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△380,000	265,000
長期借入れによる収入	550,000	—
長期借入金の返済による支出	△403,000	△299,000
リース債務の返済による支出	△30,426	△32,672
自己株式の取得による支出	△140	△119
配当金の支払額	—	△20,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263,566	△87,526
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△72,356	△658,130
現金及び現金同等物の期首残高	1,384,266	1,460,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,311,909	802,123

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(業績の推移)

(百万円未満切捨て、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	14,312	△2.4	55	△44.6	39	△48.4	△105	—
23年3月期第2四半期	13,651	△4.6	△66	—	△86	—	△63	—
24年3月期第2四半期	12,794	△6.3	△51	—	△67	—	△115	—
25年3月期第2四半期	12,060	△5.7	28	—	16	—	△23	—
26年3月期第2四半期 (当第2四半期)	11,477	△4.8	△48	—	△62	—	△107	—
	5期連続減収		2期ぶりの営業損失		2期ぶりの経常損失		5期連続四半期純損失	